



平成27年10月号



# 概 況

---

最近の県内経済は、持ち直している。

まず個人消費関連では、百貨店・スーパー販売は再びマイナスとなった。自動車販売は、登録車、届出車合計で8ヶ月ぶりにプラスとなった。

住宅建設は、持家、分譲住宅が低調でほぼ横ばいながら幾分のマイナスとなった。公共投資は、国、独立行政法人等、市町村が増加し、全体では2ヶ月連続でプラスとなった。

生産関連では、鉱工業生産指数（季節調整値）は前月比0.9%増加の106.4と、再びプラスとなった。

26年県産リンゴ販売の年間累計は、県外出荷量、消費地市場価格ともに前年を上回り、県外市場販売額は前年比16.9%増となった。八戸港の水揚げは、数量、金額ともに増加した。

雇用情勢は、有効求人倍率が前月比で0.01ポイント上昇の0.95倍となり、昭和38年の集計開始以来最高となった。景気改善を背景に、雇用情勢の改善は継続しているとみられる。

**○個人消費** 8月の**百貨店・スーパー販売額**(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比0.6%減と再びマイナスとなった。業態別では百貨店が同4.1%減、スーパーは同0.3%増となった。8月の**自動車販売台数**は登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比2.9%増の3,577台と8ヶ月ぶりにプラスとなった。登録車が同4.3%増と3ヶ月ぶりにプラス、届出車は同1.3%増と8ヶ月ぶりにプラスとなった。

**○住宅投資** 8月の**新設住宅着工戸数**は全体で前年同月比0.6%減の459戸とほぼ横ばいながら幾分のマイナスとなった。貸家が同17.7%増となったものの、持家が同3.9%減、分譲住宅が同21.1%減となった。

**○公共投資** 8月の**公共工事請負額**は、全体で前年同月比17.8%増の175億6,200万円と、2ヶ月連続のプラスとなった。県が同11.8%減となったものの、国が同61.5%増、市町村が同55.4%増などとなった。

**○一次産業** 農林水産省東北農政局調査によると、27年産水稻の作柄(9月15日現在)は、南部・下北地帯が「良」、青森地帯、津軽地帯が「やや良」と見込まれている。

**26年県産リンゴ販売**の年間累計は、県外出荷量が前年同月比15.8%増、消費地市場価格が同0.6%上昇し、県外市場販売額は同16.9%増となった。8月の**八戸港水揚げ**は、数量が前年同月比26.7%減、金額は同26.1%減となった。

**○生産活動** 7月の**鉱工業生産指数**(季節調整値)は、パルプ・紙、食料品などが上昇し、前月比0.9%増加の106.4と再びプラスとなった。原指数では食料品、業務用機械、電子部品・デバイスなどが低下し、前年同月比5.2%低下の111.1と5ヶ月ぶりにマイナスとなった。

# 一 次 産 業

## 米

### ☆ 27年産米、作況指数は「105」

農林水産省東北農政局の調査によると、青森県の平成27年産水稻の県平均作柄(9月15日現在)は、10aあたりの予想収量が595kg、作況指数は「105」と見込まれており、予想収量、作況指数ともに東北平均を上回っている。平年と比べると、穂数が「多い」、1穂あたりもみ数が「少ない」、全もみ数が「平年並み」、登熟が「やや良」と見込まれている。

作柄表示地帯別にみると、登熟は南部・下北地帯が「良」、青森地帯、津軽地帯がともに「やや良」と見込まれている。10aあたりの予想収量と作況指数をみると、青森地帯は577kgの「105」、津軽地帯が616kgの「105」、南部・下北地帯が553kgの「105」と、いずれも平年を上回る作柄が見込まれている。

27年産水稻の作柄概況(9月15日現在)

作柄表示地帯	10a当たり (kg)		作況指数	穂数の多少	1穂あたりもみ数の多少	全もみ数の多少	登熟の良否
	予想収量	平年収量					
青森県平均	595	566	105	多い	少ない	平年並み	やや良
青森地帯	577	550	105	やや多い	やや少ない	平年並み	やや良
津軽地帯	616	589	105	多い	少ない	やや多い	やや良
南部・下北地帯	553	526	105	やや多い	少ない	やや少ない	良
東北平均	560	543	103	多い	やや少ない	やや多い	やや良

資料出所: 東北農政局

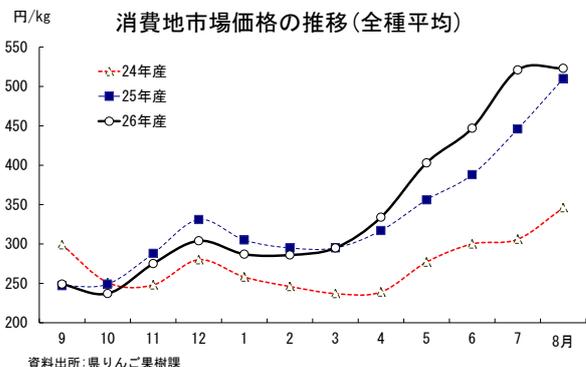
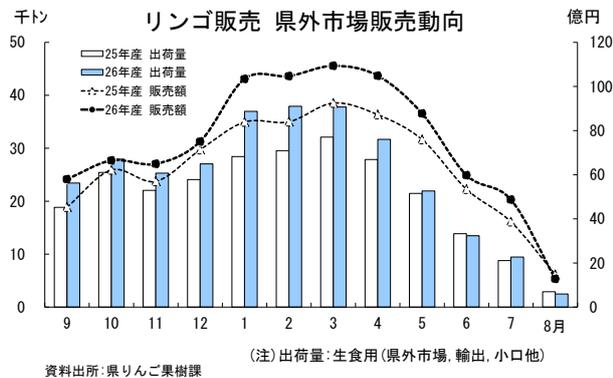
(注) 出穂最盛期とは、出穂済み面積割合が50%に達した期日。「対平年差」は前5ヶ年の平均値との比較。

## りんご

### ☆ 26年産累計、県外市場販売額、前年比16.9%増

26年県産りんご販売、8月の県外出荷量は前年同月比14.5%減の2,490トンとなった。これは前3ヶ年の8月平均出荷量を17.7%下回る水準である。消費地市場価格は全種平均で、前年同月比2.5%上昇、前3ヶ年比較で同13.4%上昇の523円/kgとなり、県外市場販売額は前年同月比13.3%減、前3ヶ年比較で同2.4%減の12億8,200万円となった。

26年産県産りんご販売は、消費地市場価格が9月から10月にかけて、果実全体の入荷量が多く平年を下回ったが、11月以降は寒波等などで競合果実の入荷量が減少し、終盤まで高値で推移し、累計では前年比0.6%上昇の319円/kgと過去10年で2番目の高値となった。県外出荷量は累計で前年比15.8%増の29万6,117トンと増加し、県外市場販売額は同16.9%増の896億5,500万円と増加した。

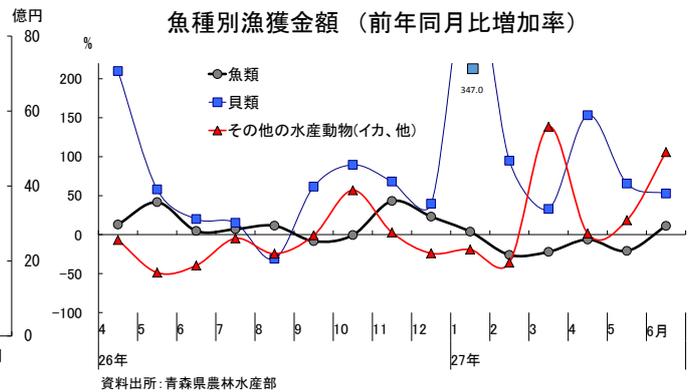
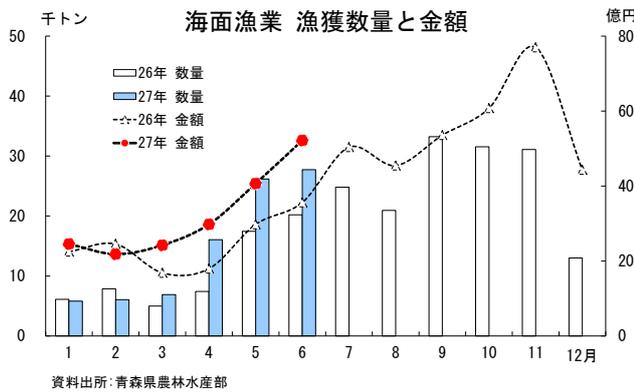


## 海面漁業

### ☆ 6月の海面漁業、漁獲数量、漁獲金額ともに増加

6月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比37.3%増の2万7,736トン、漁獲金額が同46.5%増の52億1,757万円となった。これは前年同月に比べ、ホタテガイ（半成貝/成貝）、スルメイカ（近海・生、海外）等の漁獲数量が増加したことによる。

魚種別にみると、「魚類」は、マグロ、サバ、ウスメバル、キチジ、アンコウなどが増加したものの、スケトウタラが大幅に減少したほかタイやヒラメなどが減少し、数量が前年同月比4.8%減の3,662トン、金額は同11.2%増の11億302万円となった。「貝類」はホタテガイの水揚げが著しく増加し、数量が同41.6%増の2万1,948トン、金額は同52.7%増の34億2,534万円となった。「その他の水産動物」はスルメイカの増加が全体を押し上げ、数量が同154.0%増の1,715トン、金額は同105.9%増の6億1,567万円となった。



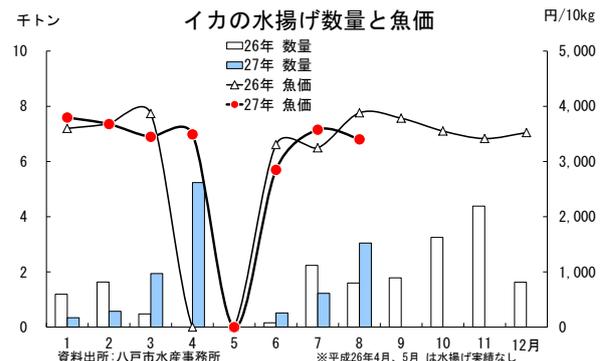
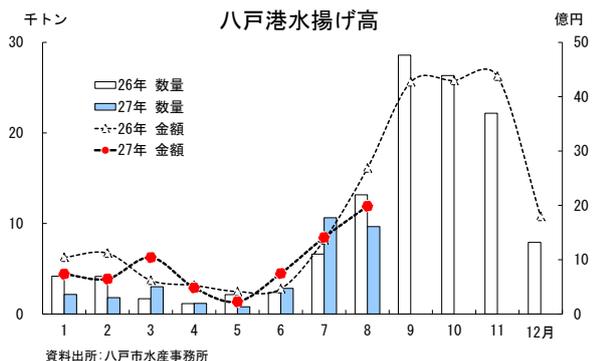
## 八戸港水揚げ

### ☆ 8月水揚げ、数量26.7%減、金額26.1%減

8月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比26.7%減の9,654トン、金額は同26.1%減の19億8,575万円となった。

イカ釣り漁は、近海生スルメイカで減少したものの、船凍アカイカが大幅に増加したほか、船凍スルメイカも増加し、数量、金額とも前年実績を大幅に上回った。数量は前年同月比90.9%増の3,048トン、金額は同67.2%増の10億3,659万円となった。操業が本格化した大中型旋網漁は、数量が同39.7%減の6,053トン、金額が同49.0%減の7億5,429万円と低調だった。機船底引き網漁は、主力の中型が6月30日で漁期を終えており、数量が前年同月比63.9%減の152トン、金額が同77.7%減の4,480万円となった。

水揚げ累計（1～8月）は、数量が前年同期比9.6%減の3万2,115トン、金額は同11.6%減の72億8,208万円となった。



## 二次産業

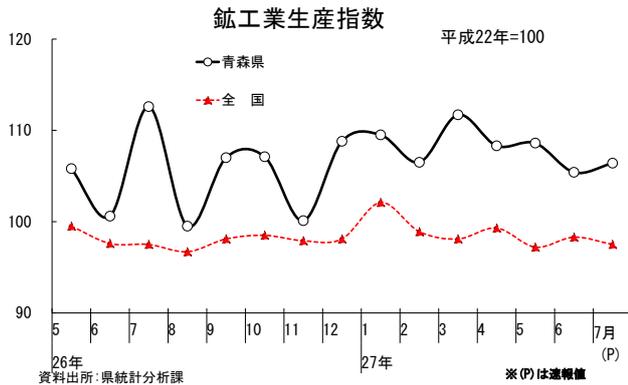
### 鉱工業生産

#### ☆前月比 0.9%増加、再びプラス

7月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成22年=100)は前月比0.9%増加の106.4と、再びプラスとなった。主要6業種をみると、電子部品・デバイスが同9.6%、電気機械が同5.7%、鉄鋼が同5.0%、業務用機械が同1.5%低下したものの、パルプ・紙が同9.5%、食料品が同1.9%それぞれ上昇した。

このほかでは、家具工業が同67.1%、生産用機械が同64.6%、金属製品が同13.3%上昇した。

原指数で前年同月と比較すると、鉄鋼、電気機械などが上昇したものの、食料品、業務用機械、電子部品・デバイス、パルプ・紙などが低下し、同5.2%低下の111.1と5ヶ月ぶりにマイナスとなった。



業種別生産指数(平成27年7月)

業種 ( )内は一万分比ウェイト	季節調整済指数		原指数	
	平成22年=100	前月比(%)	平成22年=100	前年同月比(%)
鉱工業 (10,000.0)	106.4	0.9	111.1	△ 5.2
食料品 (2,410.0)	102.8	1.9	102.1	△ 10.0
鉄鋼 (1,200.9)	108.9	△ 5.0	111.6	20.8
電子部品・デバイス (1,048.2)	145.2	△ 9.6	164.5	△ 7.5
業務用機械 (1,005.1)	96.3	△ 1.5	110.4	△ 8.7
パルプ・紙 (722.3)	89.7	9.5	96.3	△ 1.6
電気機械 (429.2)	118.4	△ 5.7	131.0	19.1

資料出所: 県統計分析課

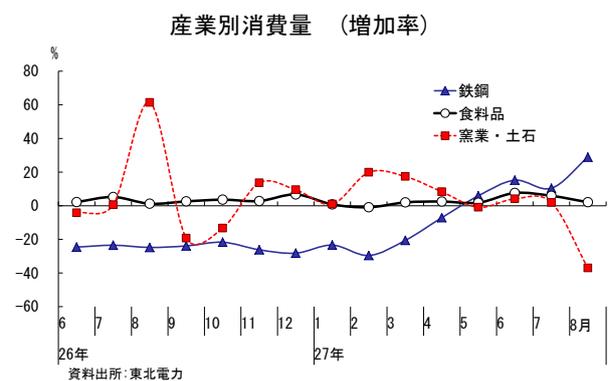
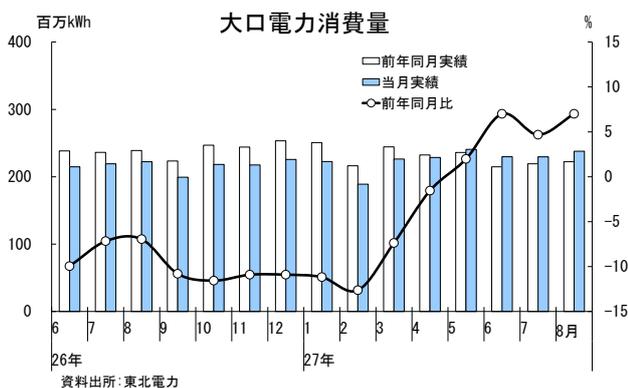
### 大口電力

#### ☆前年同月比 7.0%増、4ヶ月連続のプラス

8月の県内大口電力消費量は、前年同月比7.0%増の2億3,795万kWhとなった。うち製造業は同11.0%増の1億7,399万kWhとなった。

製造業の大口電力消費量を主要業種別にみると、消費ウエートの高い鉄鋼が同28.9%増と大幅に増加したほか、化学が同55.4%増、紙・パルプが同16.0%増、非鉄金属が同5.1%増、食料品が同2.1%増などとなった。一方、窯業・土石が同37.0%減、機械が同1.0%減などとなった。

当月の県内大口電力消費量は、製造業で、消費ウエートの高い鉄鋼が、前年の定期補修等に伴う生産設備の稼働減による反動増等がみられたほか、化学、紙・パルプ、非鉄金属などが前年実績を上回った。その結果、全体では4ヶ月連続のプラスとなった。

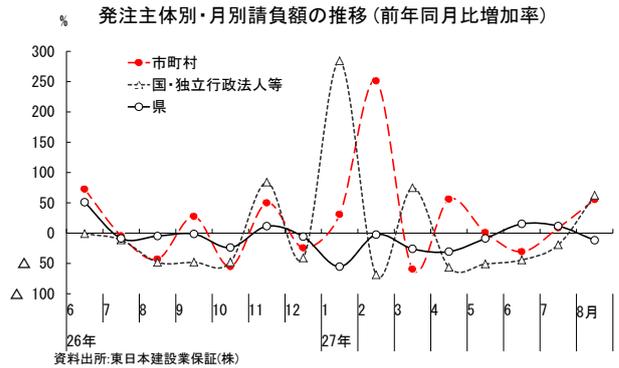
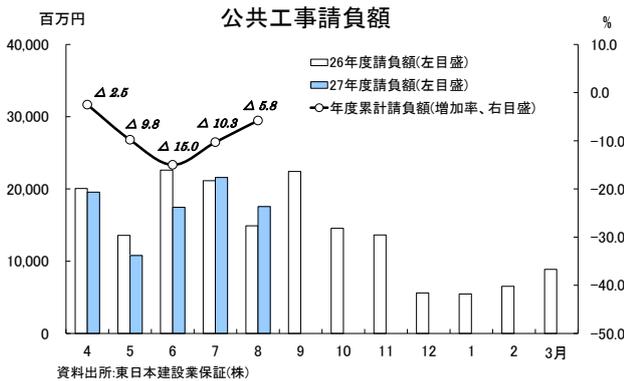


## 公共工事

### ☆前年同月比 17.8%増、2ヶ月連続のプラス

8月の東日本建設業保証（株）の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比 17.8%増の 175 億 6,200 万円と、県が減少したものの、国、市町村などが増加し、全体では前年同月を上回り 2ヶ月連続のプラスとなった。

当月の請負額は、国が防衛省などで減少したものの、国土交通省、農林水産省で増加し、同 61.5%増の 31 億 8,000 万円となった。県は、農林水産部、県土整備部などで減少し、同 11.8%減の 61 億 2,000 万円となった。市町村は東北町、蓬田村、風間浦村などで減少したものの、八戸市で大幅に増加したほか、青森市、弘前市などで増加し、同 55.4%増の 75 億 7,800 万円となった。



## 住宅着工

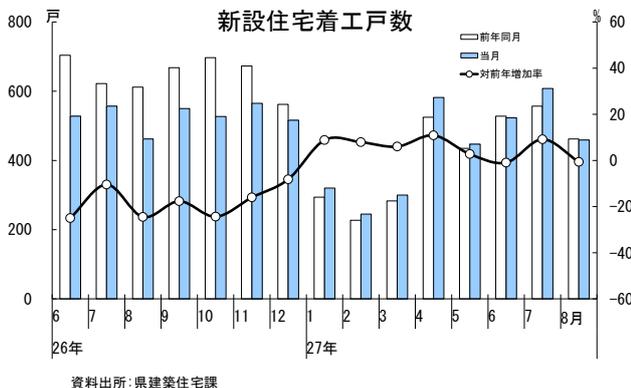
### ☆前年同月比 0.6%減、ほぼ横ばい

8月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比 0.6%減の 459 戸と再びほぼ横ばいながら、幾分のマイナスとなった。利用関係別では、貸家が同 17.7%増となったものの、分譲住宅が同 21.1%減、持家が同 3.9%減となった。

地域別にみると、全体では、青森市、八戸市、弘前市、五所川原市、黒石市で増加したものの、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市、郡部で減少した。

持家は、青森市、弘前市、郡部などで増加したものの、八戸市、むつ市、平川市などで減少した。貸家は、弘前市、五所川原市、郡部などで減少したものの、八戸市、青森市、黒石市などで増加した。

年間新設住宅着工累計(1~8月)は、前年同期比 5.2% (173 戸) 増の 3,484 戸と、前年実績を上回る状況となっている。



利用関係別戸数

(単位: 戸, %)

	27年 8月	26年 8月	前年 同月比
持家	296	308	△ 3.9
貸家	133	113	17.7
給与住宅	0	3	-
分譲住宅	30	38	△ 21.1
総戸数	459	462	△ 0.6

資料出所: 県建築住宅課

# 三 次 産 業

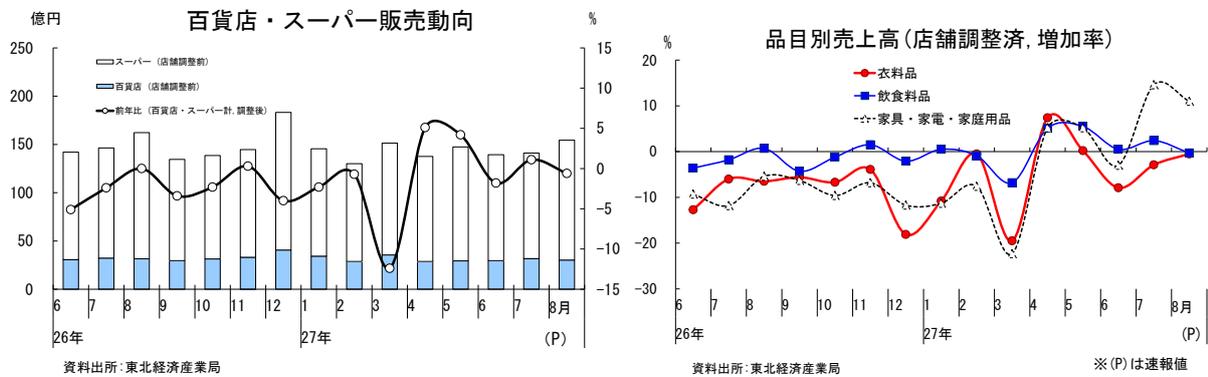
## 百貨店・スーパー販売

☆前年同月比 0.6%減、再びマイナス

8月の県内百貨店・スーパー販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比 0.6%減と再びマイナスとなった。業態別では百貨店が同 4.1%減、スーパーが同 0.3%増と明暗が分かれた。

品目別では、衣料品が同 0.5%減、ウエートの高い飲食料品が同 0.3%減、家具・家電・家庭用品が同 11.0%増となった。衣料品は、下旬に平均気温が下がったことから夏物衣料品等のセールが盛り上がりを欠いた。食料品は、惣菜に動きがみられたものの精肉、鮮魚などはやや低調だった。家具・家電・家庭用品は、家具類は買い替え需要や新築需要で増加し、家電製品は冷蔵庫や洗濯機などの白物家電、エアコンなどが好調で持ち直しがみられた。

今月は、夏物セールが盛り上がりに向け夏物商戦が苦戦したほか、お中元商戦も前年を下回り、前年実績を幾分下回った。

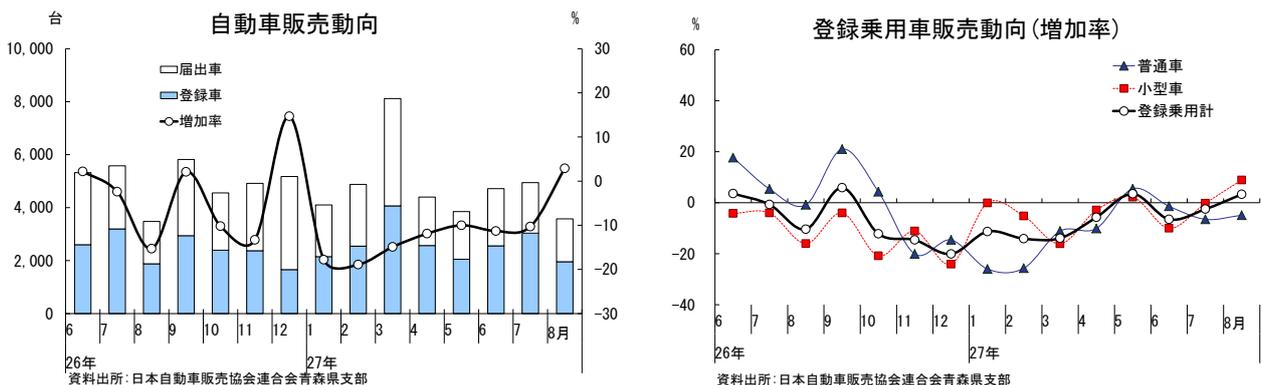


## 自動車販売

☆前年同月比 2.9%増、8ヶ月ぶりにプラス

8月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比 2.9%増の 3,577 台と 8ヶ月ぶりにプラスとなった。内訳別にみると、登録車は普通乗用車が同 4.9%減、小型乗用車が同 8.9%増、貨物車が同 6.2%増となり、登録車合計では同 4.3%増の 1,958 台と 3ヶ月ぶりにプラスとなった。届出車は乗用車が同 1.2%減、貨物車が同 7.9%増となり、届出車合計では同 1.3%増の 1,619 台と 8ヶ月ぶりにプラスとなった。届出車を含む乗用車については、届出乗用車(軽乗用車)が同 1.2%減となったものの、登録乗用車合計が同 3.3%増となり、全体では同 1.4%増と 8ヶ月ぶりにプラスとなった。

当月の自動車販売は、4月の軽自動車税引き上げで低迷していた届出車が改善してきたほか、登録乗用車もプラスとなり、全体では緩やかな回復傾向を示した。



# 物価・雇用・金融

## 消費者物価指数

☆前月と同水準、前年同月比 0.4%下落の 103.4

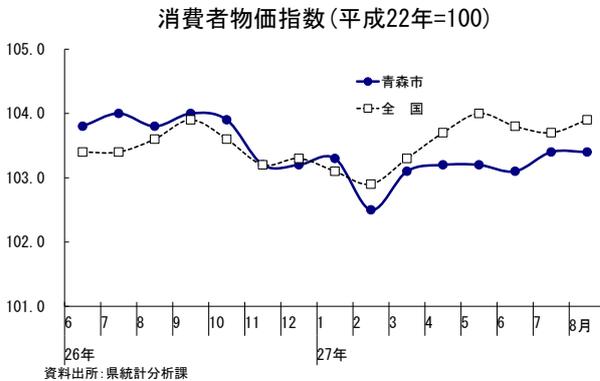
8月の青森市の消費者物価指数(平成22年=100)は前月と同水準、前年同月比0.4%下落の103.4となった。主要費目別に前月と比べると、「食料」が生鮮魚介や生鮮果物の値上がりにより0.9%上昇したほか、「教養娯楽」が教養娯楽用品などの値上がりにより0.4%上昇した。

一方、「被服及び履物」が衣料、シャツ・セーター・下着類の値下がりなどにより2.4%下落したほか、「光熱・水道」が電気代の値下がりなどにより1.0%下落、「交通・通信」がガソリン代の値下がりなどにより0.4%下落した。

前年同月との比較では、「光熱・水道」(△10.1%)、「被服及び履物」(△4.7%)、「交通・通信」(△1.8%)などの下落が目立った。

なお「生鮮食品を除く総合指数」は、前月比0.3%下落、前年同月比0.7%下落の102.6となった。

費目別指数の動き(平成27年8月)



	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	103.4	0.0	△ 0.4
食料	105.9	0.9	2.4
住居	100.0	△ 0.1	0.9
光熱・水道	110.1	△ 1.0	△ 10.1
家具・家事用品	90.7	△ 0.8	2.3
被服及び履物	97.9	△ 2.4	△ 4.7
保健医療	101.1	0.1	2.3
交通・通信	105.1	△ 0.4	△ 1.8
教育	100.9	0.0	0.9
教養娯楽	99.8	0.4	1.4
諸雑費	109.6	0.0	1.1

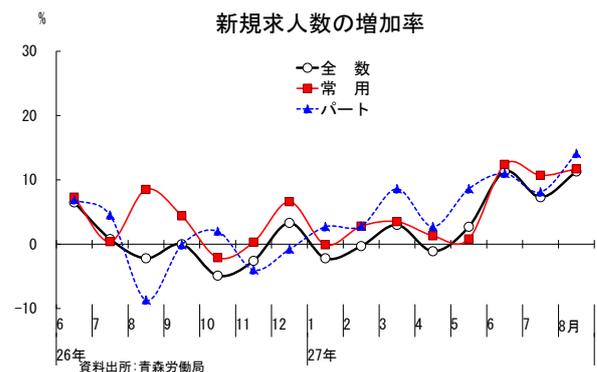
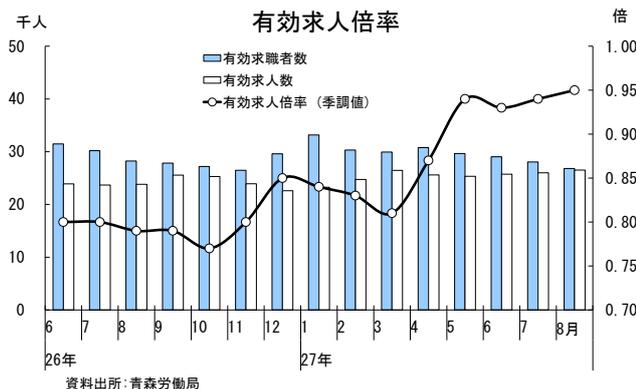
資料出所: 県統計分析課

## 雇用動向

☆有効求人倍率、0.95倍、過去最高

8月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比11.3%増の2万6,531人、有効求職者数は同5.0%減の2万6,830人となった。この結果、有効求人倍率(季節調整値)は前月比0.01ポイント上昇の0.95倍となった。新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比10.5%増、臨時・季節求人数が同7.9%増、パート求人数が同14.9%増となり、全数では同11.7%増の10,211人となった。主要産業別の新規求人動向を前年同月比でみると、情報通信業、製造業などで減少したものの、建設業、運輸業、郵便業、卸売・小売業、生活関連サービス業、娯楽業、医療、福祉、サービス業などで増加した。

県内の雇用状況は、有効求人倍率が先月比でやや上昇し、昭和38年の集計開始以来最高となった。県内景気の改善傾向を背景に、雇用情勢の改善は続いているとみられる。

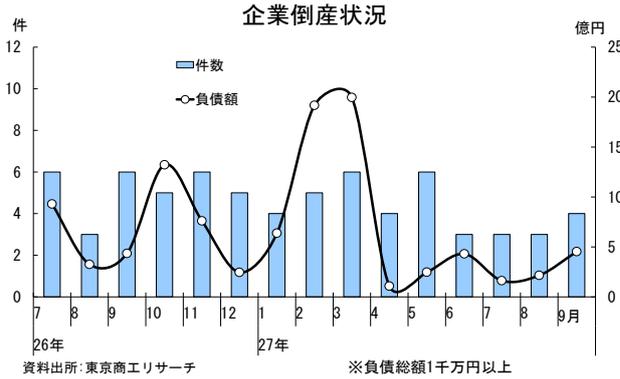


## 企業倒産

### ☆負債総額、前年同月比 1,800 万円増の 4 億 5,300 万円

9月の県内企業倒産は、件数が前年同月比で2件減の4件、負債総額は同1,800万円増の4億5,300万円となった。前月比では件数が1件増、負債総額は2億3,800万円増となった。業種別では、建設業、製造業、小売業、サービス業他が、それぞれ1件ずつとなった。地域別では、青森市、八戸市、平川市、上北郡にて各1件の発生となった。原因別では、販売不振が2件、既往のシワ寄せが1件などとなった。

県内の企業倒産件数は、倒産件数が引き続き一桁台で推移し小康状態を保っている。負債総額は、1億円以上の倒産が2件発生し、前年同月比ではほぼ横ばい、先月比では倍増した。



業種別・原因別件数 (平成27年9月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業		放漫経営	
建設業	1	過小資本	
製造業	1	他社倒産の余波	
卸売業		既往のシワ寄せ	1
小売業	1	信用低下	
金融・保険業		販売不振	2
不動産業		売掛金回収難	
運輸業		在庫状況悪化	
情報通信業		設備投資過大	
サービス業他	1	その他	1
合計	4	合計	4

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

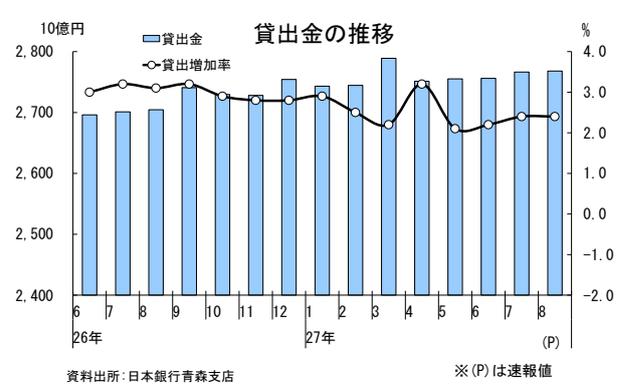
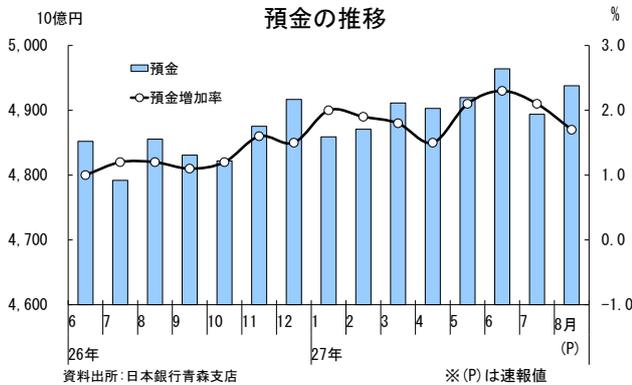
## 金融動向

### ☆預金、貸出金とも 28 ヶ月連続のプラス

8月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比1.7%増の4兆9,379億円、貸出金は同2.4%増の2兆7,681億円とそれぞれ増加した。

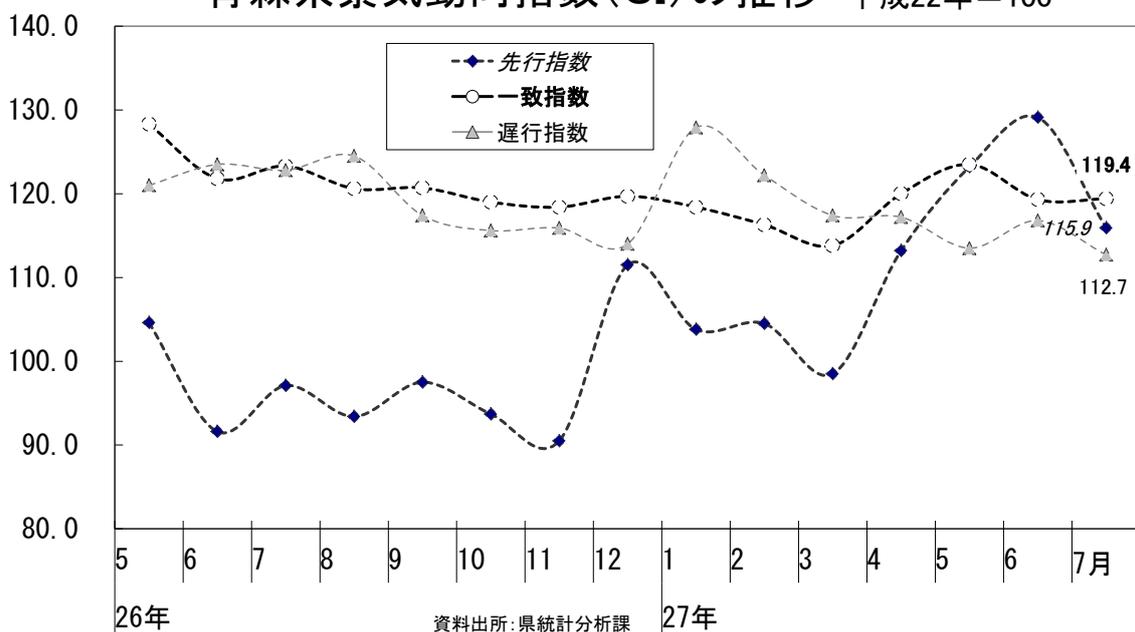
預金は法人預金、個人預金、公金預金のいずれもが前年を上回った。預金全体のプラス幅は前月比0.4ポイント減少したものの、28ヶ月連続のプラスとなった。

一方、貸出金は法人向けが前年を下回ったものの、個人、地公体向けが前年を上回った。貸出金全体のプラス幅は前月と同水準であり、28ヶ月連続のプラスとなった。



# 青森県景気動向指数

青森県景気動向指数(CI)の推移 平成22年=100



## 一致指数 採用系列の寄与度

上段: 寄与度がプラスを○、マイナスを●で表示  
下段: 寄与度

採用系列名	27年 2月	3月	4月	5月	6月	7月
1. 大型小売店販売額(既存店)	○ 0.48	● △ 2.64	○ 3.70	● △ 0.39	● △ 2.16	○ 0.95
2. 旅行取扱高	○ 1.69	● △ 1.43	○ 1.35	● △ 0.50	● 0.11	● △ 1.15
3. 鉱工業生産指数	● △ 0.73	○ 1.41	● △ 0.95	○ 0.08	● △ 0.96	○ 0.29
4. 大口電力使用量	● △ 1.65	○ 1.69	○ 1.46	○ 1.33	○ 0.13	● △ 0.90
5. 有効求人倍率(全数)	● △ 1.24	● △ 1.83	○ 3.34	○ 2.63	● △ 1.33	○ 0.06
6. 輸入通関実績(八戸港)	● △ 1.04	○ 0.45	● △ 0.96	○ 0.38	○ 0.02	○ 0.17
7. 東北自動車道IC利用台数	○ 0.41	● △ 0.24	● △ 1.70	○ 0.01	○ 0.13	○ 0.48

資料出所: 県統計分析課

### ※ 景気動向指数 (C I : Composite Index) とは

1. 前月と比較した採用系列の変化量を合成し、基準年度を100として指数化したもので、景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標である。C Iには次の3指数がある。

- 先行指数・・・景気に先行して動くことから景気の動きの予測に利用
- 一致指数・・・景気とほぼ一致して動くことから景気の現状把握に利用
- 遅行指数・・・景気に遅れて動くことから事後的な確認に利用

2. C Iは景気変動の大きさ(景気の山の高さや谷の深さ)やテンポ(景気の拡張や後退の勢い)を測定する。C Iが上昇している時が景気の拡張期(好況)であり、低下している時が景気の後退期(不況)である。

## 国内景気

### ☆概況

国内景気は、このところ一部に鈍い動きもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。個人消費は総じてみれば底堅い動き。住宅建設は持ち直している。設備投資は、総じて持ち直しの動きがみられる。輸出、輸入ともに、このところ弱含んでいる。生産は、横ばい。企業収益は改善している。雇用情勢は改善傾向。消費者物価は緩やかに上昇。国内企業物価は緩やかに下落している。

### ☆百貨店・スーパーの動向（既存店ベース）

#### —前年同月比 1.8%増—

8月の百貨店・スーパー販売額は前年同月比 1.8%増と2ヶ月連続のプラスとなった。業態別にみると、百貨店が同 2.7%増、スーパーが同 1.4%増となった。商品別にみると、衣料品が同 1.9%増、飲食料品が同 1.3%増、その他商品が同 3.1%増となった。

### ☆住宅建設

#### —6ヶ月連続のプラス—

8月の新設住宅着工戸数は前年同月比 8.8%増の 8万 255戸と6ヶ月連続のプラスとなった。利用関係別にみると、持家が同 4.1%増、貸家が同 17.7%増とそれぞれ4ヶ月連続で増加したほか、分譲住宅も同 2.6%増と2ヶ月ぶりに増加した。

### ☆企業倒産

#### —件数5ヶ月連続で減少、負債総額4ヶ月連続で減少—

8月の企業倒産は、件数が前年同月比 13.1%減の 632件、負債総額は同 27.9%減の 979億円。倒産件数は5ヶ月連続、負債総額は4ヶ月連続で前年を下回った。8月としては件数が25年ぶりの700件割れとなり、負債総額は24年11ヶ月ぶりに1,000億円を割り込んだ。

### ☆為替動向

#### —9月末終値 120円02銭—

9月の東京為替市場は前月末から反発 120円台前半でスタート。上旬は一時 118円台まで円高が進むも、日経平均株価の急騰などから 121円台手前まで円が売られた。中旬は米利上げの見送りや日経平均株価の下落などから 119円台半ばまで円が買われた。下旬は一時 120円台後半まで円が売られるも日経平均株価の下落などから 119円台後半まで円高が進んだ。月末終値は 120円02銭。

### ☆鉱工業生産指数

#### —前月比 0.5%低下—

8月の鉱工業生産指数は前月比 0.5%低下の 97.0(季節調整値)と2ヶ月連続で低下した。はん用・生産用・業務用機械、電気機械、輸送機械等が低下し、プラスチック製品、石油・石炭製品、化学(除、医薬品)等が上昇した。9月は電気機械、情報通信機械、化学(除、医薬品)等の上昇により前月比 0.1%の上昇を予測。

### ☆新車販売（除く軽自動車）

#### —再びマイナス、前年同月比 3.0%減—

9月の国内新車販売は前年同月比 3.0%減の 30万 5,802台と再びマイナスとなった。乗用車が同 3.2%減、貨物車は同 2.1%減となった。乗用車は普通乗用車が同 6.8%減と3ヶ月連続のマイナス、小型乗用車は同 0.9%増と2ヶ月連続のプラスとなった。

### ☆完全失業率

#### —前月比 0.1ポイント上昇の 3.4%—

8月の完全失業率は前月比 0.1ポイント上昇の 3.4%となった。完全失業者数は前年同月比 6万人減の 225万人となり、63ヶ月連続で減少した。求職理由別にみると、自己都合が同数の 93万人、勤め先や事業の都合が同 3万人減の 41万人などとなった。

### ☆消費者物価指数

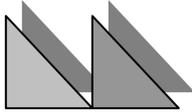
#### —前月比 0.2%上昇の 103.9—

8月の全国消費者物価指数(2010年=100)は前月比 0.2%上昇、前年同月比 0.2%上昇の 103.9となった。前月に比べ、教養娯楽、食料などが上昇した。生鮮食品を除く総合指数は、前月と同水準、前年同月比 0.1%下落の 103.4となった。

### ☆国際収支

#### —経常収支、14ヶ月連続で黒字—

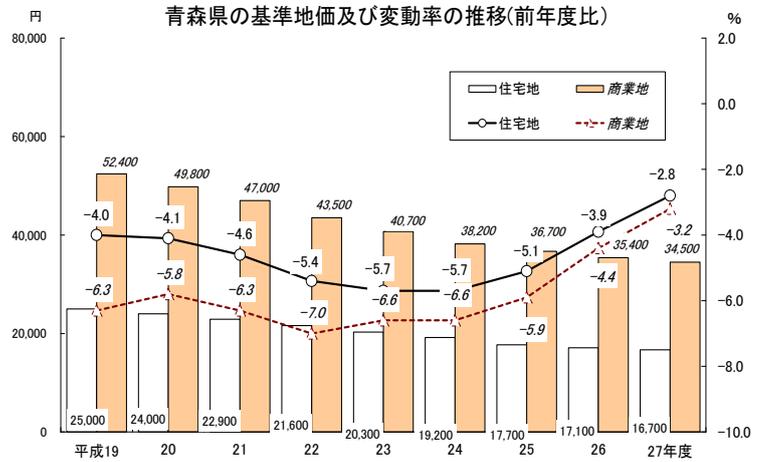
8月の経常収支額は 1兆 6,531億円と14ヶ月連続で黒字となった。前年同月比では黒字幅が拡大した。貿易・サービス収支が赤字幅を縮小し、第一次所得収支が黒字幅を拡大したこと等から、経常収支は黒字幅が拡大した。内訳は、第一次所得収支が 2兆 518億円の黒字、貿易・サービス収支が 2,683億円の赤字、第二次所得収支が 1,305億円の赤字となった。



# 今月の統計

## 青森県の基準地価

青森県が発表した平成27年度地価調査(7月1日時点の基準地価)によると、青森県の平均地価は、住宅地が16,700円で前年度比▲2.8%(同1.1ポイント上昇)、商業地は34,500円で同▲3.2%(同1.2ポイント上昇)となった。県内の基準地価は住宅地が17年連続、商業地は24年連続で下落した。変動率では住宅地、商業地ともに下落幅が幾分縮小したものの、それぞれ全国ワースト3位となった。県内全40市町村の基準地421地点のうち、前年と比較できる415地点の変動率は、4地点で上昇、20地点で横ばい、391地点で下落した。



資料:青森県「平成27年度青森県地価調査」

東北各県の基準地価変動率をみると、住宅地は福島県が前年度比2.0%、宮城県が同0.6%上昇した。一方、下落は秋田県が最大で同▲4.0%、以下、青森県が同▲2.8%、山形県が同▲1.3%、岩手県が同▲0.9%となった。商業地は宮城県が同2.1%、福島県が同0.3%上昇した。一方、下落は秋田県が最大で同▲4.6%、以下、青森県が同▲3.2%、岩手県が同▲2.5%、山形県が同▲2.0%となった。住宅地では福島県、宮城県、岩手県が、商業地では宮城県と福島県が、それぞれ全国平均の変動率を上回った。東京・大阪・名古屋の三大都市圏では、景気の緩やかな回復と相次ぐ再開発計画を反映し、住宅地が同0.4%、商業地が同2.3%それぞれ上昇した。

### 東北6県、全国の基準地価変動率

	基準地価変動率 (%)					
	住宅地			商業地		
	平成26年度	平成27年度	増減	平成26年度	平成27年度	増減
青森県	▲3.9	▲2.8	1.1	▲4.4	▲3.2	1.2
岩手県	▲1.3	▲0.9	0.4	▲3.1	▲2.5	0.6
宮城県	1.2	0.6	-0.6	2.0	2.1	0.1
秋田県	▲4.4	▲4.0	0.4	▲5.5	▲4.6	0.9
山形県	▲1.7	▲1.3	0.4	▲2.4	▲2.0	0.4
福島県	1.0	2.0	1.0	▲0.2	0.3	0.5
三大都市圏	0.5	0.4	-0.1	1.7	2.3	0.5
全国平均	▲1.2	▲1.0	0.2	▲1.1	▲0.5	0.6

資料:国土交通省「平成27年度都道府県地価調査」

#### 用語解説

基準地価………国土利用計画法に基づき都道府県知事が基準地を選定し、毎年7月1日現在の宅地基準地について公表する土地の基準価格。

県内

1日 平成27年産サンつがる、東京 3,289円

つがる弘前農協の平成27年産リンゴ「サンつがる」の初競りが、大田市場(東京都)であり、昨年産に続き今年産も品質が高かったことから、平均値は前年を195円上回る3,289円/10kgとなった。

4日 本県の平成26年度経常収支比率、前年度比1.9ポイント悪化

県が発表した平成26年度普通会計決算によると、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は95.8%となり、前年度比1.9ポイント悪化(上昇)した。また、県債残高(臨時財政対策債含む)は前年度を316億円下回る1兆2,791億円で、平成23年度から4年連続で減少した。

9日 平成27年夏季賞与、4年連続増加

県経営者協会が発表した今年の夏季賞与・一時金(ボーナス)の最終妥結状況によると、平均妥結額は33万9,459円(前年比1.0%増)で4年連続で前年を上回った。

11日 平成27年度中に100歳となる高齢者、本県は303人

「敬老の日」を前にした厚生労働省の発表によると、今年度中に100歳になる高齢者(平成27年9月1日現在)は全国で3万379人、うち本県は303人となった。

16日 北海道新幹線、新青森～新函館北斗間開業は3月26日

JR北海道は、北海道新幹線新青森～新函館北斗間の開業日を3月26日にすると発表した。運転本数は「はやぶさ」が11往復、「はやて」が2往復の計13往復となる。

平成27年度基準地価、全用途の下落率2.9%

県が公表した平成27年度地価調査によると、全用途の1平方メートル当たりの平均価格は前年度比2.9%下落し2万300円となった。住宅地は同2.8%、商業地は同3.2%それぞれ下落した。

17日 8月末の県内新規高卒者の求人倍率、過去最高の1.45倍

青森労働局が発表した来春の県内新規高卒者に対する求人状況(8月末現在)によると、県内求人数は前年同月比20.8%増(590人増)の3,425人となった。求人倍率は同0.35ポイント増の1.45倍と過去最高となった。

国内

1日 平成27年4-6月期の設備投資5.6%増

財務省が発表した平成27年4-6月期の法人企業統計によると、全産業(金融・保険業を除く)の設備投資は前年同期比5.6%増の9兆385億円となり、9-四半期連続の増加となった。

3日 平成26年度概算医療費、40兆円突破

厚生労働省が発表した「医療費の動向」によると、平成26年度の概算医療費は40兆円となり過去最高を更新した。

8日 平成27年4-6月期のGDP改定値、年率換算1.2%減

内閣府が発表した平成27年4-6月期の国内総生産(GDP、季節調整済み)改定値は、物価変動の影響を除いた実質が年率換算で前期比1.2%減となり速報値(同1.6%減)から上方修正された。

街角景気、現状判断指数2ヶ月ぶりに低下

内閣府が発表した8月の景気ウォッチャー調査によると、景気の実感を示す「街角景気」の現状判断指数は前月比2.3ポイント低下の49.3となり、2ヶ月ぶりに低下した。また、横ばいを示す50を7ヶ月ぶりに下回った。

17日 8月の貿易赤字5,697億円

財務省が発表した8月の貿易統計(速報、通関ベース)によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は5,697億円の赤字となった。赤字は5ヶ月連続となる。

20日 65歳以上の高齢者人口3,384万人

「敬老の日」に合わせて総務省が発表した日本の高齢者人口(9月15日現在推計)によると、65歳以上の高齢者は前年比89万人増の3,384万人、総人口に占める割合は同0.8ポイント増の26.7%となり、ともに過去最高を更新した。

# 全国の主要経済指標

年次及び月	日証券発行高 (平均残高・億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行貸出約定 平均金利 (年利%)	企業倒産		鉱工業 生産指数 2010年=100	新設住宅 着工戸数 (戸)	公共工事 請負額 (億円)	百貨店・スー パー販売額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)		件数 (件)	負債総額 (億円)				
2009 (H21)	764,627	569,486	428,567	1.655	15,480	69,301	86.5	788,410		197,758
2010 (H22)	771,516	578,485	420,417	1.551	13,321	71,608	100.0	813,126		195,791
2011 (H23)	792,805	598,688	425,858	1.452	12,734	35,929	97.2	834,117		195,933
2012 (H24)	809,455	613,690	433,824	1.364	12,124	38,346	97.8	882,797	128,456	195,916
2013 (H25)	835,998	640,633	449,134	1.258	10,855	27,823	97.0	980,025	150,536	197,774
2014 (H26)	866,132	660,844	461,147	1.180	9,731	18,741	99.0	892,261	165,257	201,973
2014 (H26) 6	856,484	652,645	450,474	1.222	865	1,920	97.6	75,757	16,182	16,319
7	863,217	644,584	449,331	1.219	882	1,295	97.5	72,880	15,774	17,177
8	864,799	646,162	450,387	1.214	727	1,358	96.7	73,771	13,974	16,266
9	862,960	652,873	454,907	1.202	827	1,368	98.1	75,882	15,921	15,313
10	865,271	646,936	453,499	1.198	800	1,241	98.5	79,171	14,688	16,065
11	870,990	656,658	456,260	1.195	736	1,155	97.9	78,364	10,689	17,286
12	901,074	660,844	461,147	1.180	686	1,783	98.1	76,416	12,488	21,558
2015 (H27) 1	901,357	658,252	458,485	1.179	721	1,681	102.1	67,713	8,722	17,215
2	886,755	661,723	459,627	1.173	692	1,512	98.9	67,552	9,940	14,986
3	892,520	676,336	465,464	1.158	859	2,236	98.1	69,887	20,662	17,150
4	895,381	673,889	460,760	1.157	748	1,928	99.3	75,617	7,535	16,080
5	899,665	678,655	462,447	1.153	724	1,278	97.2	71,720	7,278	16,928
6	896,714	678,820	464,740	1.141	824	1,269	98.3	88,118	15,503	16,412
7	906,796	674,054	465,907	1.137	787	1,201	97.5	78,263	14,321	17,057
8	910,354			1.135	632	979	96.3	80,255	13,760	16,057
前月比%	0.4	-0.7	0.3	-0.002*イント	-19.7	-18.5	-1.2	2.5	-3.9	0.7
前年同月比%	5.3	4.6	3.7	-0.079*イント	-13.1	-27.9	0.0	8.8	-1.5	1.8
資料出所	日本銀行			東京商工リサーチ		経済産業省	国土交通省		経済産業省	

※企業倒産は負債額1千万円以上

※鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

※百貨店・スーパー販売額(2015.7大型小売店販売額を名称変更)の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

年次及び月	新車登録 届出台数 (乗用車) (千台)	国内企業 物価指数 2010年=100	消費者 物価指数 2010年=100	景気動向 指数 (一致) 2010年=100	完全 失業率 (季節済) (%)	日経平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	国際収支 (経常) (億円)	外貨 準備高 (年月末) (100万ドル)	東京 外為相場 (月平均) (円/US\$)	日経 商品指数 (月末42種) ('70年=100)
2009 (H21)	3,924	100.1	100.7	-	5.1	10,546.44	135,925	1,049,397	93.61	153,228
2010 (H22)	4,212	100.0	100.0	-	5.1	10,228.92	193,828	1,096,185	87.75	168,232
2011 (H23)	3,525	101.5	99.7	-	4.6	8,455.35	104,013	1,295,841	79.76	165,195
2012 (H24)	4,572	100.6	99.7	-	4.3	10,395.18	47,640	1,268,125	79.79	169,679
2013 (H25)	4,562	101.9	100.0	-	4.0	16,291.31	39,317	1,266,815	97.71	188,334
2014 (H26)	4,699	105.1	102.8	-	3.6	17,450.77	26,458	1,260,548	105.79	183,036
2014 (H26) 6	379	106.2	103.4	111.9	3.7	15,162.10	-3,639	1,283,921	102.05	187,031
7	391	106.6	103.4	112.2	3.8	15,620.77	4,036	1,276,027	101.72	187,984
8	281	106.5	103.7	111.0	3.5	15,424.59	2,494	1,278,011	102.96	187,760
9	432	106.4	103.9	112.3	3.6	16,173.52	9,780	1,264,405	107.09	186,677
10	328	105.5	103.6	112.5	3.5	16,413.76	8,464	1,265,925	108.06	185,780
11	340	105.2	103.2	111.8	3.5	17,459.85	4,402	1,269,079	116.22	186,985
12	360	104.7	103.3	112.8	3.4	17,450.77	2,259	1,260,548	119.40	183,036
2015 (H27) 1	344	103.3	103.1	114.8	3.6	17,674.39	1,018	1,261,103	118.24	176,003
2	413	103.2	102.9	112.6	3.5	18,797.94	14,957	1,251,112	118.57	177,430
3	587	103.5	103.3	110.9	3.4	19,206.99	28,203	1,245,316	120.39	175,260
4	263	103.6	103.7	113.5	3.3	19,520.01	13,362	1,250,073	119.55	177,106
5	279	103.8	104.0	111.3	3.3	20,563.15	18,660	1,245,755	120.74	178,137
6	365	103.6	103.8	112.3	3.4	20,235.73	5,615	1,242,935	123.75	176,769
7	356	103.3	103.7	112.2	3.3	20,585.24	P 18,086	1,242,316	123.23	174,461
8	271	P 102.7	103.9	P 112.5	3.4	18,890.48	P 16,531	1,244,150	123.23	169,466
前月比%	-23.7	-0.6	0.2	-0.6*イント	0.1*イント	-8.2	-	0.1	0.0	-2.9
前年同月比%	-3.5	-3.6	0.2	-	-0.1*イント	22.5	562.9	-2.6	19.7	-9.7
資料出所	自販協連合会	日本銀行	総務省	内閣府	総務省	日経新聞社	財務省	日本銀行	日経新聞社	

※日経平均株価は年末、月末の終値ベース

# 青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行 (-) 還収超 額(億円)	県内金融機関		企業倒産(負債額1千万円以上)		毎月勤労統計調査	
	(人)	社会動態(人) (転入-転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)	現金給与総額 (円)	総実労働時間 (時間)
2009 (H21)	1,392,976	-6,286	-639	45,183	27,167	102	40,856	254,409	154.2
2010 (H22)	1,380,834	-5,082	-1,062	45,718	26,717	79	28,409	259,231	154.6
2011 (H23)	1,371,440	-3,465	-693	47,408	26,781	73	34,830	254,469	154.8
2012 (H24)	1,361,053	-5,311	-1,287	47,633	26,780	57	52,781	253,142	155.0
2013 (H25)	1,347,650	-5,924	-1,762	48,252	27,298	53	11,199	257,302	154.4
2014 (H26)	1,333,729	-6,269	-1,957	49,114	27,890	66	9,485		
2014 (H26) 5	1,325,297	-260	15	48,172	26,982	5	438	222,300	155.0
6	1,324,485	-194	-217	48,521	26,962	7	1,345	349,982	159.5
7	1,323,719	-81	-109	47,919	27,010	6	930	264,961	159.2
8	1,323,182	-189	-194	48,556	27,045	3	325	225,120	151.4
9	1,322,461	37	-52	48,309	27,407	6	435	226,444	155.9
10	1,321,895	-44	-299	48,219	27,295	5	1,322	220,790	157.8
11	1,321,130	-72	-189	48,753	27,280	6	760	221,752	154.9
12	1,320,329	-187	-662	49,168	27,543	5	245	412,640	154.0
2015 (H27) 1	1,319,297	-166	216	48,591	27,432	4	637	235,821	146.7
2	1,318,059	-419	-100	48,708	27,446	5	1,917	218,323	152.1
3	1,316,886	-5,353	-158	49,114	27,890	6	1,996	227,174	154.7
4	1,310,809	527	-271	49,030	27,513	4	108	223,277	159.6
5	1,310,743	-89	-7	49,198	27,552	6	247	217,872	147.9
6	1,309,993	-114	-243	49,641	27,560	3	430	334,174	160.5
7	1,309,272	-100	-168	48,939	27,665	3	162	263,587	160.7
8	1,308,552			P 49,379	P 27,681	3	215		
前月比 %	-0.1	-	-	0.9	0.1	0.0	32.7	-21.1	0.1
前年同月比%	-1.1	-	-	1.7	2.4	0.0	-33.8	-2.1	0.0
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		東京商工リサーチ		県統計分析課		

※人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数  
 ※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

※日銀券の年次計数は年度累計  
 ※毎月勤労統計調査は事業所規模5人以上を対象

年次及び月	鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年=100	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	公共工事請負額		新規求人 倍率 (倍)	有効求人 倍率 (倍)
		総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)		(百万円)	うち県分 (百万円)		
2009 (H21)	90.3	5,356	3,002	2,084	566	189,665	63,816	0.56	0.32
2010 (H22)	100.0	4,708	3,138	1,286	534	187,168	57,357	0.67	0.40
2011 (H23)	95.8	4,890	3,051	1,581	518	182,648	54,547	0.80	0.50
2012 (H24)	104.7	5,578	3,286	1,844	582	208,618	55,074	0.96	0.64
2013 (H25)	106.4	6,461	4,193	1,958	632	197,238	60,716	1.14	0.78
2014 (H26)	106.9	5,469	3,387	1,721	575	169,394	58,023	1.16	0.81
2014 (H26) 6	99.0	528	364	126	61	22,614	6,545	1.10	0.80
7	112.3	557	306	213	56	21,139	6,910	1.12	0.80
8	101.5	462	308	113	52	14,906	6,938	1.11	0.80
9	109.3	550	363	161	58	22,415	12,546	1.10	0.80
10	107.5	527	347	156	55	14,557	3,564	1.11	0.79
11	102.0	565	272	251	54	13,640	2,727	1.16	0.82
12	109.5	516	258	208	48	5,603	1,923	1.25	0.85
2015 (H27) 1	109.0	320	116	133	28	5,463	817	1.18	0.84
2	106.5	245	96	116	25	6,527	816	1.15	0.83
3	111.7	300	200	74	33	8,874	3,641	1.16	0.81
4	108.3	582	403	151	64	19,556	5,357	1.31	0.87
5	108.6	447	306	116	49	10,789	3,536	1.36	0.94
6	105.4	523	353	138	57	17,456	7,541	1.31	0.93
7	P 106.4	608	368	180	64	21,592	7,718	1.20	0.94
8		459	296	133	49	17,562	6,120	1.32	0.95
前月比%	0.9	-24.5	-19.6	-26.1	-23.8	-18.7	-20.7	0.12ポイント	0.01ポイント
前年同月比%	-5.2	-0.6	-3.9	17.7	-5.6	17.8	-11.8	0.21ポイント	0.15ポイント
資料出所	県統計分析課	県建築住宅課				東日本建設業保証		青森労働局	

※鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による  
 ※公共工事請負額の年次の欄は年度計数

※求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

## 青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	百貨店・スーパー販売額(百万円)	新車登録台数(台)	乗用車登録届出台数(台)	消費者物価指数 2010年=100 (青森市)	勤労者世帯家計消費支出額(青森市)(円)	雇用保険		青森県景気ウォッチャー調査(現状判断DI)	おおぎんBSI
						受給人員(人)	受給金額(百万円)		
2009(H21)	165,738	26,929	41,192	100.3	302,596	-	19,497	-	-
2010(H22)	170,306	29,949	42,970	100.0	270,767	-	14,886	-	-
2011(H23)	175,736	26,512	38,137	100.1	287,873	-	14,439	-	-
2012(H24)	181,246	33,496	49,397	99.3	274,133	-	13,070	-	-
2013(H25)	179,920	31,442	49,982	99.6	267,928	-	12,291	-	-
2014(H26)	177,667	31,736	52,046	103.0	259,815	-	11,408	-	-
2014(H26) 6	14,204	2,599	4,374	103.8	264,022	7,897	865	-	-
7	14,638	3,195	4,573	104.0	247,510	8,598	1,023	45.7	-
8	16,226	1,878	2,730	103.8	278,121	7,895	836	-	-10.9
9	13,450	2,941	4,627	104.0	219,929	7,288	788	-	-
10	13,856	2,395	3,625	103.9	243,461	6,719	792	43.9	-
11	14,465	2,375	3,836	103.2	234,406	6,116	636	-	-7.8
12	18,323	1,662	3,980	103.2	285,101	6,807	711	-	-
2015(H27) 1	14,553	2,150	3,374	103.3	272,977	11,045	1,717	39.8	-
2	13,005	2,545	3,984	102.5	240,985	9,131	1,217	-	-19.2
3	15,106	4,065	6,526	103.1	283,906	7,176	877	-	-
4	13,756	2,570	3,578	103.2	270,812	6,870	855	50.5	-
5	14,743	2,053	3,044	103.2	242,091	7,384	862	-	-2.2
6	13,942	2,556	3,735	103.1	211,436	7,583	848	-	-
7	14,111	3,034	4,056	103.4	237,365	7,550	888	53.3	-
8	P 15,437	1,958	2,767	103.4	267,869	7,559	807	-	-
前月(期)比%	-	-35.5	-31.8	0.0	12.9	0.1	-9.0	2.8ホ イト	17.0ホ イト
前年同月(期)比%	-0.6	4.3	1.4	-0.4	-3.7	-4.3	-3.4	-	-
資料出所	東北経産局	自販協連合会青森県支部	県統計分析課	総務省	青森労働局	県統計分析課	青森銀行		

※百貨店・スーパー販売額(2015.7 大型小売店販売額を名称変更)の前年同月比は既存店ベース増減率

※雇用保険の年次の値は年度計数

年次及び月	りんご			漁業 (八戸水揚高)		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)	
	出荷量(ト)	市場価格(円/Kg)	産地価格(円/Kg)	数量(ト)	金額(百万円)	輸出(百万円)	輸入(百万円)	輸出(百万円)	輸入(百万円)
2009(H21)	288,061	257	144	139,275	21,694	9,692	19,402	113,721	105,780
2010(H22)	297,566	261	168	119,470	23,405	9,244	24,003	151,688	118,867
2011(H23)	215,428	364	214	121,511	21,044	9,178	29,937	111,720	103,081
2012(H24)	274,892	263	164	112,395	18,670	6,785	29,059	107,146	122,288
2013(H25)	255,696	317	191	97,591	19,672	7,651	35,866	122,070	141,664
2014(H26)	296,117	319	180	120,530	22,969	7,733	34,824	132,609	177,830
2014(H26) 6	13,857	388	-	2,383	464	384	2,522	23,079	11,967
7	8,792	446	-	6,623	1,362	974	2,486	9,990	24,917
8	2,911	510	-	13,172	2,686	593	2,288	10,024	12,037
9	23,426	249	138	28,591	4,270	605	2,823	7,160	14,267
10	27,950	237	210	26,344	4,297	695	1,750	12,937	16,448
11	25,302	275	174	22,175	4,374	589	1,453	8,463	11,690
12	27,055	304	149	7,914	1,794	625	4,496	11,667	10,914
2015(H27) 1	36,964	287	156	2,169	736	593	2,258	14,281	19,335
2	37,926	286	182	1,816	648	337	2,890	9,245	9,440
3	37,801	295	205	3,020	1,041	548	1,463	11,700	11,901
4	31,672	334	292	1,180	485	558	2,651	8,238	19,151
5	21,934	403	-	797	228	611	1,868	12,407	12,624
6	13,480	447	-	2,839	748	589	3,130	11,812	14,205
7	9,465	521	-	10,640	1,409	746	914	10,388	16,376
8	2,490	523	-	9,654	1,986	488	1,518	12,935	14,644
前月比%	-73.7	0.4	-	-9.3	40.9	-34.6	66.1	24.5	-10.6
前年同月比%	-14.5	2.5	-	-26.7	-26.1	-17.7	-33.7	29.0	21.7
資料出所	県りんご果樹課			八戸市水産事務所		函館税関、青森支署・八戸支署			

※りんご年次欄はりんご年度の計数

### 青森県の主要経済指標・各種統計 3

年次及び月	青森県の気象(青森地方気象台)			パスポート 発行件数	
	気温 (°C)	降水量(ml)	日照時間(h)	(件)	
2014(H26)	10.7	1,483.5	1,735.0	13,560	
2014(H26)	7	23.2	107.0	204.4	1,280
	8	23.6	274.0	132.1	1,530
	9	19.2	70.0	208.7	1,231
	10	12.8	146.5	170.6	1,059
2015(H27)	11	8.1	63.5	102.2	872
	12	0.0	238.5	25.5	1,057
	1	-0.2	133.5	43.0	1,395
	2	1.2	45.0	96.4	971
	3	4.6	56.5	141.0	1,273
	4	9.9	81.0	189.8	858
	5	15.1	69.5	255.0	883
	6	18.1	57.5	208.0	982
7	22.8	65.0	179.3	1,075	
8	23.6	72.0	184.6	1,501	
前月比%	0.8°C	7.0ml	5.3h	39.6	
前年同月比%	0.0°C	-202.0ml	52.5h	-1.9	
資料出所	気象庁			外務省	

### ☆県内主要都市・地区各種指標

年次及び月	地区別業況BSI		
	青森地区	津軽地区	県南地区
2013(H25)			
1~3月	-23.3	-5.3	-1.9
4~6月	-24.0	-23.1	-3.6
7~9月	-6.3	5.7	3.7
10~12月	18.6	7.5	24.1
2014(H26)			
1~3月	9.8	5.7	6.3
4~6月	-13.6	-15.0	-10.5
7~9月	4.7	-24.2	-15.4
10~12月	5.4	-20.0	-10.2
2015(H27)			
1~3月	-31.7	-7.3	-14.3
4~6月	-7.0	6.1	-3.2
7~9月	5.7	-2.7	-6.3
資料出所	青森銀行BSI('15.7~9月期は見直し)		

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)			
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	
2014(H26)	7	291,003	178,434	232,953	885	346	641	190	83	114
	8	290,915	178,358	232,971	473	226	374	101	65	108
	9	290,838	178,268	232,878	704	327	639	126	74	115
	10	290,646	178,279	232,860	496	271	525	116	111	100
2015(H27)	11	290,555	178,209	232,858	559	309	495	182	88	92
	12	290,452	178,162	232,781	401	189	321	177	56	114
	1	290,251	178,098	232,634	478	255	474	52	44	114
	2	289,946	177,945	232,506	604	334	522	40	98	67
	3	289,723	177,715	232,398	1,060	511	728	75	39	74
	4	288,212	176,524	231,490	576	238	643	156	70	152
	5	288,791	176,923	231,554	494	216	463	103	63	122
	6	288,639	176,865	231,485	594	368	525	158	92	98
	7	288,408	176,721	231,472	862	314	689	155	72	158
8	288,275	176,726	231,385	446	233	436	125	77	110	
9	288,029	176,590	231,337							
前月比%	-0.1	-0.1	-0.0	-48.3	-25.8	-36.7	-19.4	6.9	-30.4	
前年同月比%	-1.0	-0.9	-0.7	-5.7	3.1	16.6	23.8	18.5	1.9	
資料出所	青森県統計分析課			自販協連合会青森県支部			青森県建築住宅課			

年次及び月	有効求人倍率 職業安定所別			企業倒産						
				青森市		弘前市		八戸市		
	青森	弘前	八戸	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	
2014(H26)	7	0.72	0.54	0.83	2	230	0	0	2	450
	8	0.80	0.60	0.89	1	150	0	0	2	175
	9	0.79	0.77	0.97	1	25	3	330	0	0
	10	0.78	0.79	0.98	0	0	1	57	2	1,200
2015(H27)	11	0.77	0.69	0.97	2	40	0	0	1	450
	12	0.64	0.54	0.83	1	34	1	11	1	14
	1	0.59	0.48	0.76	4	637	0	0	0	0
	2	0.76	0.58	0.83	3	1,833	0	0	0	0
	3	0.82	0.64	0.86	1	821	1	250	1	300
	4	0.78	0.62	0.81	1	37	1	45	1	16
	5	0.85	0.63	0.81	4	144	0	0	1	43
	6	0.89	0.61	0.85	0	0	0	0	0	0
	7	0.93	0.60	0.90	1	26	0	0	0	0
8	0.97	0.74	1.00	0	0	1	85	1	100	
9				1	43	0	0	1	148	
前月比%	0.04 ポイント	0.14 ポイント	0.10 ポイント	-	-	-100.0	-100.0	0.0	48.0	
前年同月比%	0.17 ポイント	0.14 ポイント	0.11 ポイント	0.0	72.0	-100.0	-100.0	-	-	
資料出所	青森労働局			東京商工リサーチ青森支店						

※有効求人倍率は原数値による